



「希望」



広島女学院中学高等学校
校長 渡辺 信一



2024年度が始まり、早くも2カ月が過ぎようとしています。4月6日に中学入学礼拝が行われ、196名の新入生が入学しました。4月には1泊2日のオリエンテーション合宿が行われ、比治山墓地にあるゲンス先生の墓参をし、クラスごとの礼拝をささげました。5月には定期テストがあり、中学生となって最初の試練に立ち向かいました。私は入学礼拝のとき、学院聖句「我らは神と共に働く者なり」ということを、「神様は、あなたたち一人ひとりがとても好きです。そして平和をつくっていくためのとても大切な人です。」ということだと伝えました。礼拝から始まる学校生活が、自分が大切な人であると感じることができるものとなるよう祈ります。

さて、4月に卒業生の関係者から、お手紙をいただきました。その卒業生の方は、広瀬ハマコ元院長先生と同級生の方で、東京にある113年の歴史をもつ私立幼稚園の2代目園長先生をされた方です。その方の持ち物の中に、1922年卒業アルバムと集合写真があり、広島女学院に関する資料として送っていただきました。102年前の卒業アルバムですが、心を込めて作られたものでした。当時の先生、卒業生の一人ひとりが広島女学院のその日に存在され、私たちの先達として、今の生徒と同じように大切な人であったことを感じました。また、1枚の集合写真は、真ん中にゲンス先生がおられ、その周りに生徒のみなさんがおられます。ゲンス先生は、子どもを抱いておられますから、当時の幼稚園または小学校の子どもたちでしょうか。そこにいる人は皆、前をしっかりと向いていて、そのまなざしに心が動きます。希望に満ちあふれていると感じます。138年の歩みの内にずっと守られてきた広島女学院が大切にしてきたものを改めて思います。

「平和を実現する人々は、幸いである、その人たちは神の子と呼ばれる。」

マタイによる福音書5章9節

この聖句を、2024年度の1学期始業礼拝の聖句としました。私たちの生きる今、各地で戦争・紛争が行われています。また、大きな自然災害が続いています。そのような状況でつながり合うことがより必要となっています。一方でICT環境のすさまじいほどの発展は、よりつながっているはずなのに孤立してしまう危険性を著しく大きくしています。そんな中で、讃美歌を歌い、聖書のことばに触れることから一日をはじめ、自分自身を知る時を与えられている生徒は、平和を実現することの希望なのです。他の人と比べれば何も自慢できるものがない、そのようなときもあるでしょう。その弱さを知ることこそが希望なのです。何かにチャレンジしてもうまくいかず、あきらめきれずに後悔ばかりしているときもあるでしょう。その大切なことを原点にし、この世の横軸と、神様との縦軸があることでぶれない軸もっていることが希望なのです。誰が隣人であるかを知り、誰が自分と同じように神様に愛されているのかを知ること、そしてその人の隣人になることの安心、平安を知っていることが希望なのです。私はこの祈りを込めて、生徒たちに「あなたがたは希望です。」とメッセージを送り続けています。102年前の広島女学院の生徒のみなさんが持っていた希望を今の私たちも持っています。

2024年度運営体制

理事長 中川 日出 男
 院長・学長 三谷 高 康
 中学高等学校長 渡辺 信 一
 幼稚園長 古重 歌 織
 専務理事兼法人事務局長 海田 智 浩

総合研究所長 森保 尚 美
 大学宗教委員・宗教センター長 粟津原 淳
 障がい学生高等教育支援室長 山下 京 子
 総合学生支援センター長 市川 知 美
 入試・広報センター長 石長 孝 二郎
 キャリアセンター長 吉田 順 子
 エンパワメントセンター長 吉田 順 子
 研究支援・社会連携センター長 入江 直 子

●●● 大学院 ●●●

言語文化研究科長 柚木 靖 史
 人間生活学研究科長 市川 知 美

●●● 大 学 ●●●

副学長 田頭 紀 和
 副学長 小林 文 香

人文学部

人文学部長 柚木 靖 史
 国際英語学科長 磯部 祐 実 子
 日本文化学科長 出雲 俊 江

人間生活学部

人間生活学部長 渡部 佳 美
 生活デザイン学科長 檜崎 久 美 子
 管理栄養学科長 妻木 陽 子
 児童教育学科長 村上 智 子
 図書館長 森保 尚 美

●●● 中学・高等学校 ●●●

高等学校教頭 中村 紀 子
 中学校教頭 宇津 剛
 教務部長 山縣 泉
 進路指導部長 國岡 健 太郎
 広報部長 濱岡 由 希 子
 生徒支援部長 川鍋 元 広 恵
 グローバル教育推進部長 野中 理 恵

●●● 幼稚園 ●●●

幼稚園主事 久保木 裕 子

●●● 法 人 ●●●

歴史資料館長 蒲原 靖 男

新任者のご紹介

(2024.4.1付)

こいけ かずお 小池 一夫 大学特任教授(人文学部 国際英語学科)
 きりき けんし 桐木 建始 大学特任教授(人間生活学部 児童教育学科)
 いっしき まいこ 一色 舞子 大学准教授(人文学部 日本文化学科)
 かぎやま よしのぶ 鍵山 昌信 大学准教授(人間生活学部 生活デザイン学科)
 わたなべ ともみ 渡邊 智美 大学准教授(人間生活学部 管理栄養学科)
 たかはし たかこ 高橋 孝子 中高常勤講師(音楽)
 みくま ゆい 三熊 佑依 中高常勤講師(英語)
 なかにし たいら 中西 泰良 中高常勤講師(国語)
 かわにし はるな 川西 晴奈 幼稚園教諭(任期付教員)
 たけ ひかり 武 光莉 大学キャリアセンターキャリア支援課事務職員
 (常勤嘱託職員)
 かみこうちかな 上河内 香奈 中高実習助手(特別常勤嘱託職員)



左から順に(敬称略)
 1列目) 鍵山、桐木、渡邊、一色、中西
 2列目) 武、川西、高橋、三熊、上河内

新任者あいさつ

大学 国際英語学科 | 小池 一夫

本年4月より特任教授として名門の誉れが高い広島女学院大学の教員の仲間入りをしました。建学の理念と教育方針を遵守しつつ、女子大学であることの強みを最大限に生かして、女性であるからこそ可能なこと、女性にしかできないことを成し遂げられる、その様な学生たちを社会に送り出すことが出来るような指導に努め、学生の夢を現実のものとするための手助けをしたいと考えています。

大学 児童教育学科 | 桐木 建始

31年間勤務した本学を2年前に定年退職してからは、沖縄通いをしながらのんびりと過ごしていました。この度は、縁あって再び大学でお世話になることになりました。自然豊かなキャンパスに戻り、懐かしい教職員の皆様、明るく優しい学生たちに出会うことができ本当に嬉しく思います。

わずか2年のブランクでしたが、大学の変化の速さに戸惑いながら新学期を迎えました。これから皆様とともに、学生たちのために力を尽くしていきます。

大学 日本文化学科 | 一色 舞子

これまで、韓国の大学や大阪、札幌の大学にある留学生別科で日本語教育に携わってまいりました。この度、ご縁があって広島女学院大学に赴任し、日本語教員養成を担当することとなりました。日本語教育のほかにも、日本語と韓国語の対照研究を専門としております。これまでの教育・研究における蓄積を活かし、女学院の発展に貢献してまいりたいと思います。よろしくお願いいたします。

大学 生活デザイン学科 | 鍵山 昌信

今年度より生活デザイン学科に赴任しました東広島市生まれの鍵山昌信と申します。これまでは建築設計を通して、地域と人と建築をどのように関わらせ、新しい価値を生み出していくかを模索していました。これからはさらに女学院を通じて、自身の活動を体系化させつつ、併せて本学で学ぶ学生と地域とがより連携し合う環境の構築に尽力したいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

大学 管理栄養学科 | 渡邊 智美

この度、広島女学院大学で教えることを大変嬉しく存じます。

これまでの教育実践の経験を活かして、学院の皆様とともに学生の教育に携わりたいと思います。

学生の皆さんには調理の楽しさや面白さを伝えたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

中高 音楽科 | 高橋 孝子

「何事にも時があり、天の下の出来事にはすべて定められた時がある。(コヘレト3:1)」懐かしい母校に、満開の桜の中温かく迎えていただき、嬉しく思っております。ドイツで長く、教会の教会音楽師として、幅広い世代の方々と関わってきました。これから、可能性と夢いっぱいの生徒達のお手伝いができる事を楽しみにしています。どうぞよろしくお願いいたします。

中高 英語科 | 三熊 佑依

今年度より英語科で勤務させていただきます、三熊佑依と申します。このたび、母の母校でもあり、以前より憧れを抱いていたここ広島女学院中学高等学校の一員となれることを、心から嬉しく思っております。生徒・教職員の皆様と共に過ごすことが出来る、広島女学院での全ての瞬間に感謝し、大切にしながら、一日でも早く皆様のお役に立てますよう精進してまいります。何卒よろしくお願いいたします。

中高 国語科 | 中西 泰良

今年度から広島女学院中学高等学校の国語科教員として勤務させて頂くことになりました、中西泰良です。この度、地元である広島の中でも特に伝統がある広島女学院の一員となることが出来て、非常に嬉しく思います。授業や日常の何気ないやり取りなどを通して、生徒とともに様々なことに挑戦し、成長していきたいと思っておりますので、何卒よろしくお願いいたします。

幼稚園 | 川西 晴奈

大好きな母園であるゲース幼稚園の一員となれたことに感謝しております。子どもたちが元気いっぱい、安心して園で過ごせるように尽力してまいります。

子どもたちが笑ったり、時には泣いたりする感情をあるがままに表現し、自分の良さ、友だちの良さに気づき自分のことも周りのことも大切にできるよう私自身も神様の大きな愛に包まれた中で子どもたちと共に成長していきたいと思っております。

キャリア支援課 | 武 光莉

この度、ご縁がありキャリア支援課に配属となりました。日々の積み重ねを大切に、また、学生や皆様との出会いに感謝しながら過ごしていきたいと思っております。不慣れな点も多く、ご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、学生たちのパワーに負けぬよう、精一杯努めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

中高実習助手 | 上河内 香奈

この度理科の実習助手をさせていただくことになりました上河内香奈(かみごうち かな)です。

以前は岡山の高校で理科(生物)の教員として勤務していましたが、これからは実習助手として皆さんが安全に、そしてスムーズに実験ができるよう、陰からサポートしていきたいと思っております。

私自身、女学院中高の卒業生なので、大好きな女学院で勤務できることをとても嬉しく思います。これからどうぞよろしくお願いいたします。



新年度の抱負

大 学

学長就任4年目に思う 院長・学長 三谷 高康



最近、広島女学院大学の人格教育はいかにあるべきかを考える機会がありました。その糸口を見つけようと学校教育の根本である教育基本法を読み直すことにしたところ、今までスルーしてきた文言が大変重要であると気づかされました。

改訂された新教育基本法の第1条「教育の目的」は、「教育は、人格の完成を目指し、…」と始まりますが、この「人格の完成を目指す」の文言は昭和22年に制定された旧教育基本法と全く変わっていません。つまり新旧の教育基本法はどちらも教育の目的を「人格の完成」としているのです。

「人格の形成」「人格の向上」「人間性の豊かさ」というような到達可能なものを教育の目的に置くところを「人格の完成」というおよそ人間には到達不可能な神的な超越性を目的としている点に魅力を感じました。なぜなら、キリスト教の教えと共通しているからです。キリスト教では人格の完成者はキリストですから、「人格の完成」とはキリストを目指すということの意味します。

旧基本法の制定に尽力した当時の文部大臣田中耕太郎は敬虔なカトリック教徒でした。彼の影響で基本法はキリスト教的倫理観が強く反映していると言われていています。ですから、新旧の教育基本法の人格教育はキリスト教的な人格教育と符合しているのです。中世のヨーロッパのベストセラーにトマス・ア・ケンピスの『キリストに倣いて』(De imitatione Christi)という書があります。カトリックの霊的修練の書として広く読まれた有名な古典ですが、キリストを目指す、つまりキリストに倣う人格教育には霊性の成長も大きな要素となっています。学内で行われる礼拝は霊性を養育する側面もありますから、まさにキリスト教人格教育そのものと言うことが出来ます。学内礼拝を大切に続けたいと思っています。

副学長 田頭 紀和



この春より副学長の2期目を拝命しました。1期から「大学の全てを学生の成長のために」を掲げて取り組んでまいりましたが、各学科、各部署の教職員の皆様のご協力により、数多くの成長の場を設けることができました。特に地域連携活動は、各学科で授業や課外活動にも導入が進み、年々活発になってきています。また、企業や団体からの連携のお話も年々増加しており、社会の中で学ぶ機会は益々増えています。こうした活動を通して、「自身の経験を強みにできる教育」をさらに推進していきたいと考えています。

副学長 小林 文香



近年、大学には「学修者本位の教育の実現」「学修成果の可視化」が求められています。これらを受けて、本学では2022～2023年度にカリキュラム検証および改善に取り組みました。その結果として、今年4月より新たに3つの教育プログラム「ライフキャリアデザインI～VII」「学科横断プログラム」「HJUアクティブプログラム」がスタートしました。どのプログラムも学びに対する主体性を引き出し、自分の言葉で自己の成長を「伝える力」を育てる内容になっています。学生の皆さんが本学で学んでよかったと成長を実感してもらえるよう、引き続き教育・学生支援の充実に務めてまいります。

人文学部長 柚木 靖史



人文学とは、「人」について学ぶ学問だといってよいでしょう。人々の考え方、行動、言語、作品などを研究する学問です。人々の様々な活動を支えているのは「心」ですから、人文学は人の心を研究する学問だともいえます。心を自然科学的な手法で解明し尽くすことは恐らく難しいでしょう。人文学は人の心を想像することの大切さを学びます。現に私たちは想像する力によって社会生活を送っています。「想像力を鍛えること」こそ、人文学の学びの中心であって、その学びがみなさんの生活を力強く支えてくれるはずですよ。

人間生活学部長 渡部 佳美



人間生活学部は女性のライフキャリアを通して、地域社会に貢献できる人材を育成しています。人間生活の基本となる「衣・食・住」および「育」の分野での専門的な学びを活かしたフィールドスタディに取り組んでいます。生活デザイン学科は韓国や欧州でデザインを学び、管理栄養学科では、ハワイで日本の食文化の違いを学ぶフィールドワークを行っています。児童教育学科の子どもチャレンジラボでは地域の子どもや保護者と実際に触れ合い、実践力を高めています。人生100年時代と言われる現代、学生が様々な経験を積み重ね、多様な問題に対応できる人間力を持った女性となることを期待しています。

中学高等学校

高校教頭 中村 紀子

4月より高校教頭として新たな一步を踏み出すこととなりました。生徒のときにはあまり感じていませんでしたが、母校に教員として勤めだして、改めて広島女学院の良さに気づかされています。礼拝から一日が始まり豊かな時が与えられていること、様々な行事を通して自分がどう生きていくかを考える機会が多く用意されていること、個々の才能や興味に応じて能力を伸ばせる環境が整えられていること。挙げれば限りがありませんが、これらを通して自分の人生の指針の礎となるものが培われていたように思います。時代を越えても大切なものは変わりません。それらを大切に守りながらも、時代の変化にも柔軟に対応し、常に成長し続ける学校でありたいと考えています。生徒教職員皆さんと力を合わせ、精一杯務めさせていただきますので、どうぞよろしくお願いいたします。



中学教頭 宇津 剛

今年で創立138年を迎える広島女学院は、創立以来、キリスト教主義に基づき、「一人ひとりの生徒が自分の使命(ミッション)を見つける」ことを教育活動の基盤に置いてきました。私は今年で広島女学院中高に着任して17年目を迎えますが、私自身もこれまで、広島女学院中高の教職員の一人として、個々の生徒の長所を伸ばし、その可能性を広げることを自分の役割だと考え教育活動に携わってきたと自負しています。今年度から新たに中学教頭職を拝命しましたが、私のミッションは何一つ変わることはありません。今後も全ての生徒が自分だけの夢を見つけ、そしてその夢を実現する手助けをするべく、教職員の皆様方と協力して、全力で与えられた職務に当たりたいと思っております。至らぬ点多々あるかと思いますが、どうぞよろしくお願いいたします。



幼稚園

幼子と共に 幼稚園長 古重 歌織

2024年度新入園児、進級児そして一人ひとりの成長をお支え下さっている保護者の皆様と共に、園の新たな歩みが与えられていますことに感謝いたしております。

新年度を迎えるにあたり、神さまのお導きにより繋がる者同士が、様々な出来事や経験を通してより豊かに過ごすことができるよう、誰もが自分らしさを存分に発揮できる環境をつくり出してまいりたいと思っております。

幼子と共に過ごし、子どもも大人も共に成長させていただける環境は喜び、そして命の輝きに満ちた場所であることを実感させられています。

豊かな自然に囲まれた園舎園庭は、四季の移り変わりを身近に感じ、多くの恵みを受け取ることのできる場となっています。春には、命の芽吹きの時を待ち望んでいた新しい芽が顔をのぞかせ、新緑の美しさに包まれ、夏には照り輝く太陽の光があるからこそ木陰の心地よさを感じ、秋には園庭の木々が色とりどりに紅葉し、また多くの木の実の収穫をいただき、寒い冬には落ち葉の絨毯の感触を楽しんで過ごす機会を与えられています。自然から与えられる豊かな恵みは全て神様からの贈り物。そしてその一つひとつを肌で感じ、手に取る経験は子どもたちの成長を支える糧となっています。いただく恵みを用いた活動は、子どもたちにとって手仕事であり労働です。労働には協力が生まれ、協力の中から共有が生み出されていきます。この繰り返しが達成感が得られるものであると同時に、様々な困難が生じることもあります。そこで受け取る賜物は、その人自身の生涯にわたる礎となっているに違いありません。かけがえのないこの幼児期に、心も体もたっぷりと働かせ、その子がその子らしく安心感を持って歩んでいくことができる「抛り所となる場」を整えることが保育者に与えられている使命だと感じています。

『我らは神と共に働く者なり』『成長させて下さるのは神である』学院聖句、幼稚園聖句に導かれ、心新たに2024年度の歩みを丁寧に心を込めて進める所存でございます。



法人

寄付

5月15日受付分まで(順不同・敬称略)

広島女学院大学のために

- 500,000円 株式会社アボアエンジニアリング
- 40,000円 Asia-Pacific Academic
- 20,000円 鈴川 実穂

児童教育学科の発展のために

- 57,335円 幼心2期生有志一同

宗教委員会の活動のために

- 10,000円 敬和学園大学

中高教育充実のため

- 200,000円 石津 嘉生
- 20,000円 前田 瑞枝
- 10,000円 山地佐和子

卒園証書カバー代として

- 114,730円 広島女学院ゲーンズ幼稚園 みぎわ会

被爆ヴァイオリンの維持・修繕のために

- 41,000円 松野じん後援会
- 30,000円 一般社団法人ヒロシマ国際作家協会

寄贈図書として

- 「ラジオ中学生の基礎英語レベル1-2」、
「ラジオ中高生の基礎英語in English」各7冊 廣文館
- 「九条家旧蔵古今集注」 宮内庁書陵部
- 「行動する詩人栗原貞子」 松本 滋恵
- 「Surviving Hiroshima:pbk」 松浦 正博
- 「華やぎと哀しみと」 片山美代子(葉山弥世)
- 「上海、かたつむりの家」 渡邊ゆかり
- 「海色の塚」
- 「惜別」
- 「三四郎」
- 「細雪」
- 「THE OXFORD ENGLISH DICTIONARY」
13冊セット 宮野 淑子

中高生の情操教育のため

- 絵画1点(タンザニアのティンガティンガ) 田中 翔子

ご寄付のお願い

本学院はクレジットカード決済に対応したインターネットからの寄付金募集を行っております。皆さまには引き続き格別のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。詳細は学校法人広島女学院ホームページ(<https://www.hju.ac.jp/houjin/donation/>)をご覧ください。



お問い合わせ／人事・会計課
TEL：082-228-0387

こちらからアクセスいただけます

人事

【昇任】

- 熊田亜矢子(大学教授) 大崎 美佳(大学准教授)
- 細 恵子(大学教授) 山口 大輔(大学准教授)
- 村上 智子(大学教授)

表彰

永年勤続者

- 30年勤続者 中 麻奈美 中山 美香
抹香加緒理 永松 正彰
榎 良平 藤岡千津子
山口 明美
- 20年勤続者 田頭 紀和 島田 克央
國岡健太郎 児玉 由美

訃報

- 青山 君子 様(元大学教員) 2024.5.7
- 鈴木 道子 様(元幼稚園長、元大学教員) 2024.5.21

法人事務局からのお知らせ

被爆79年広島女学院平和祈念式

- 日時：2024年8月6日(火) 10:00
- 場所：広島女学院中学高等学校ゲーンズホール

第38回クリスマスコンサート「メサイア」

- 日時：2024年12月22日(日) 開場16:30 開演17:00
- 場所：広島女学院中学高等学校ゲーンズホール

お問い合わせ／法人事務局管理部総務課
TEL：082-228-0386

退職者あいさつ

大学 生活デザイン学科 教授
細田 みざわ

広島女学院大学では12年間、お世話になりました。
様々な思い出がありますが、コロナ禍という人との接触を最小限にしなければならない状況は、大学教育においてとても厳しい経験となりました。そのコロナも明け、最終講義に卒業生を含めて80名もの皆様に参加していただき、とてもよい思い出になりました。本当にありがとうございました。

大学 日本文化学科 教授
渡邊 ゆかり

採用面接で初めて大学を訪れたとき、当時存在したレトロでかわいらしい木造校舎を見て、ここで働けたらなと思いました。念願が叶い採用された日から26年間、様々な変化に翻弄されましたが、良き学生、良き同僚に恵まれ、幸せでした。これまで支えてくださった皆様方に心より御礼申し上げます。

大学 国際英語学科 准教授
中島 義和

HJU着任初日のことは今でも鮮明に覚えています。1コマ目の慣れないハイブリッド型の授業を終えた後で辞令をいただき、私のHJUライフがスタートしました。その日から今まで、多くの刺激的で貴重な経験をさせていただきました。本当にありがとうございました。HJUのさらなるご発展を心よりお祈り申し上げます。

大学 児童教育学科 准教授
大橋 隆広

2016年よりお世話になりました。児童教育学科の先生方および中等教職課程の仕事を通して、各学科の先生方にも大変お世話になりました。キャリアも浅く、まだ経験も知識も浅い中、みなさまには大変ご迷惑をおかけしたことかと思えます。改めまして、お詫びと御礼を申し上げます、ご挨拶にかえさせていただきます。

大学 管理栄養学科 准教授
近藤 寛子

わずか2年間という短い期間でしたが、明るく元気な学生と共に様々な新しい事にチャレンジする事が出来ました。私も管理栄養士として、大学教員として大いに成長できた2年間でした。教員の先生方にも大変良くしていただき感謝しています。本当にありがとうございました。

中高教諭(音楽)
福岡 美香

ゲーンホール前の小さかった桜の木がいつのまにか大木となり、新学期の生徒たちを祝福するかのように毎年咲き誇ります。皆様のお支えにより、無事に退職の日を迎えました。心から感謝致します。次の道へまた心新たに歩んでいきたいと思えます。お世話になり、ありがとうございました。

幼稚園教諭
橋本 佳南

子どもの時に通ったゲーン幼稚園に、保育者として戻ってきて5年間務めさせていただきました。たくさんの個性豊かな子どもたちと出会い過ごした日々は、私の宝物です。未熟な私ですが、皆様に支えられ成長させていただきました。ありがとうございました。これからも、広島女学院の益々のご発展と皆様のご多幸をお祈りしております。

入試・広報センター 入試・広報課職員
松岡 良輔

4年間、大変お世話になりました。皆さまにはいつも温かく接していただき、心よりお礼申し上げます。広島女学院大学で培った経験を今後も活かしていきたいと思えます。皆様のさらなるご健勝とご活躍をお祈り致します。今まで、本当にありがとうございました。

入試・広報センター 入試・広報課職員
鈴川 実穂

2004年より広島女学院大学入試課にご縁をいただき、微力ながらも一日一日を一生懸命、母校の為になればと、勤務させていただきました。あっという間の20年間でした。

教職員の皆様には、よく声をかけ、助けていただき、本当に有難うございました。これからも本学の発展を心よりお祈り申し上げます。

2023年度は記載の方々他、次の方が退職されました。

- 中高教諭(国語)(常勤講師) 野島 優里花
- 中高実習助手(理科)(常勤嘱託教育職員) 小田 幸子
- 大学研究支援・社会連携センター事務課事務職員 河野 宏史
- 法人事務局・大学管理部総務課技術職員 土井長 和真

2025年度 学生・生徒・園児募集要項 ～キリスト教精神に基づいた教育を目指して～

大学 募集人員

【人文学部】

国際英語学科 65名
日本文化学科 40名

【人間生活学部】

生活デザイン学科 65名
管理栄養学科 70名
児童教育学科 90名

大学院

募集人員(男女共学/社会人・外国人留学生可、定員は春季・秋季計)

【言語文化研究科】

日本語文化専攻 修士課程 6名
英米言語文化専攻 修士課程 6名

【人間生活学研究科】

生活文化学専攻 修士課程 6名
生活科学専攻 修士課程 6名



こちらから
アクセス
いただけます

●お問い合わせ先/広島女学院大学入試・広報課
TEL : 082-228-8365 (直通)

詳しくはHPをご覧ください。
<https://www.hju.ac.jp/examination/>

中学校(予定) 募集人員 180名
(5学級)

●お問い合わせ先/広島女学院中学高等学校
TEL : 082-228-4131

詳しくはHPをご覧ください。

<https://www.hjs.ed.jp/candidate/>



こちらから
アクセス
いただけます

幼稚園 募集人員 満3歳児 12名
3歳児 53名
4歳児 若干名

●お問い合わせ先/広島女学院ゲーンズ幼稚園
TEL : 082-228-6635

詳しくはHPをご覧ください。

<https://gaines-kg.jp/>



こちらから
アクセス
いただけます

広瀬ハマコ記念基金のご案内

広瀬ハマコ先生は、校母ナニ・B・ゲーンズ先生から直接薫陶を受けられました。その期待に応えられ、園長、学長、院長、理事長として36年間に渡り、本学院圧点のために尽力されました。

1988年にご召天。その後私財は先生のご遺言により本学院に寄附され、「広瀬ハマコ記念奨学基金」の制度が生まれました。基金の運用益をもって次の事業を行うと定めています。

- 1. 本学院の教壇に卒業生の人材を確保するための奨学金を支給する。
- 2. 留学を希望する内外学生、生徒の学費を援助し国際化を促進する。

応募については次のとおりです。みなさま奮ってご応募ください。

●応募条件：本学(高校、大学)卒業生で国内外の大学院在学者

●選考：本人の申請により3月・9月に行います

お問い合わせ/法人事務局管理部総務課
TEL : 082-228-0386

同窓会からのお知らせ

被爆79年広島女学院平和祈念式

- 日時：2024年8月6日(火) 10:00～
- 場所：広島女学院中学高等学校 ゲーンズホール

同窓会バザー(中高文化祭)

- 日時：2024年11月3日(日・祝) 10:00～
- 場所：ゲーンズホール前テント
献品は1年を通じ受け付けております。同窓会事務局までご連絡ください。

バイブルクラス(聖書を学ぶ会)

- 日時：毎月第4水曜日 10:30～(8月休会)
- 場所：同窓会館
- 講師：広島流川教会 向井希夫牧師

お問い合わせ/同窓会事務局
TEL・FAX : 082-221-1059
(月)～(金) 10:00～15:00



こちらから
アクセス
いただけます

法人概要

以下の法人の情報がご覧いただけます。

- ・組織図
- ・在籍学生等の数
- ・教職員の状況
- ・事業計画
- ・事業報告



こちらから
アクセス
いただけます

<https://www.hju.ac.jp/houjin/about/>

編集後記

1932年6月に「広島女学院新聞」が、創刊されました。1939年12月まで続き、戦時中やむなく休刊していましたが、1953年10月1日、学院創立67周年記念を機として復刊されました。1958年2月に「広島女学院報」と改名されました。この号には、広瀬ハマコ院長の改名に託した思いが掲載されています。歴代編集委員は、その志を胸に置き、広島女学院報を編集して参りました。本日、1953年10月の復刊から数えて第200号を皆様にお届けすることができました。200号は一つの通過点であり、広島女学院の歴史はこれからも続いていきます。私たちは、女学院スピリットの後継者として使命を全うしていきます。(法人 蒲原 靖男)